

長崎大学整形外科専門研修プログラム(ダイジェスト版)

1. 長崎大学整形外科専門研修プログラムと専門研修施設群

日本における西洋医学発祥の地である長崎大学病院では「人間性ゆたかな医療人を育成する」ことを理念としています。長崎大学整形外科専門研修プログラム(以下、本研修プログラム)では、それに加え医師として必要な臨床能力及び運動器疾患全般に対する基本的・応用的・実戦能力を備えた整形外科専門医を育成し、国民の運動器の健全な発育・健康維持に貢献することを理念としています。



長崎大学医学部 HP より

整形外科専門研修プログラムでは1ヶ月の研修を1単位とする単位制をとります。全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、基幹施設および連携施設をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた単位数以上を修得し、整形外科専門研修プログラムにおいて必要とされる3年9ヵ月間で45単位を修得するプロセスで研修を行います。症例数は、年間新患者数が500例、年間手術症例が40例と定められています。

長崎大学病院整形外科を基幹施設とし、下記の22の連携施設を含んだ本研修プログラムの長崎大学整形外科専門研修施設群(表1)においては、年間新患者数 **45,000** 名以上、年間手術件数およそ **15,000** 件(2014年度新患者数 **45,421** 名、2014年度手術件数 **14,516** 件)の豊富な症例数を有します。したがって、必要症例数をはるかに上回る症例を経験することが可能です。

表 1: 長崎大学整形外科専門研修施設群

| | | | |
|--------------|----------------------|-------------------|---------------------|
| 専門研修 基幹施設 | 長崎大学病院 | | |
| 専門研修 連携施設 | A:労働者健康福祉機構 長崎労災病院 | B:国立病院機構 長崎医療センター | C:長崎原爆病院 |
| | D:長崎みなとメディカルセンター市民病院 | E:済生会長崎病院 | F:佐世保市総合医療センター |
| | G:国立病院機構 嬉野医療センター | H:大分県立病院 | I:重工記念長崎病院 |
| | J:長崎百合野病院 | K:愛野記念病院 | L:長崎県立こども医療福祉センター |
| | M:国立病院機構 佐賀病院 | N:国立病院機構 長崎病院 | O:聖フランシスコ病院 |
| | P:長崎記念病院 | Q:和仁会病院 | R:地域医療機能推進機構 諫早総合病院 |
| | S:市立大村市民病院 | T:長崎県島原病院 | U:長崎県五島中央病院 |
| | V:長崎県上五島病院 | | |

2. 長崎大学整形外科専門研修の特徴

本研修プログラムでは、基幹施設および連携施設全体において関節外科、脊椎外科、スポーツ医学、手外科、外傷、腫瘍、小児などの専門性の高い診療を早くから経験することで、整形外科専門医取得後のサブスペシャリティ領域の研修へと継続していくことができます。また基幹施設である長崎大学病院における研修では、サブスペシャリティに対する専門性の高い研修に加えて、長崎大学の大きな特徴でもある大学院大学の側面を活かし、その後の大学院進学に備えた臨床研修および基礎研究への深い関わりを持つことができます。

本研修プログラム終了後の進路として、大きく分けて大学院へ進学するコースと、直接サブスペシャリティ領域の研修に進むコースを提供します。大学院へ進学する場合、研修終了の翌年度より整形外科もしくは整形外科に関連する大学院基礎講座に入学し、主に基礎研究を行います。

大学院卒業後はサブスペシャリティ領域の研修に進み各分野の臨床・研究に従事しますが、国内外への留学でさらなる研究の幅を深める選択肢もあります。一方、本研修プログラム終了後にサブスペシャリティ領域の研究に直接進む場合には、進みたい領域の専門診療班に約1年間所属し、長崎大学整形外科ならびに連携施設において専門領域の研修を行います。

①専門研修基幹施設(長崎大学病院 整形外科)

長崎大学整形外科は1954年に開講し、2014年に開講60周年を迎えた歴史ある整形外科教室です。診療グループは股・膝関節・リウマチを対象とした関節再建班、腫瘍班、膝スポーツ班、手外科班、外傷班(外傷センター)、肩肘班、小児整形班、脊椎班といった診療班からなっています。なお、当院には2011年10月に国立大学初の外傷センターが長崎大学病院救命救急センターに付随して設立されました。救命救急センターに外傷治療専属として3名の整形外科医と1名の形成外科医が常勤し、県内外からドクターヘリ、ドクターカー等で高度医療が必要な患者の集約化を行っています。

②専門研修連携施設

本研修プログラムでは、都市型総合研修病院として年間1,000例以上の手術件数を取り扱う大型総合病院であるA.労働者健康福祉機構 長崎労災病院に加え、都市型総合病院であるB.国立病院機構 長崎医療センター、C.長崎原爆病院、D.長崎みなとメディカルセンター市民病院、E.済生会長崎病院、F.佐世保市総合医療センター、G.国立病院機構 嬉野医療センター、H.大分県立病院が連携施設となっています。さらに各分野の最先端治療を行う高度専門領域研修病院として、I.重工記念長崎病院、J.長崎百合野病院、K.愛野記念病院、L.長崎県立子ども医療福祉センター、M.国立病院機構 佐賀病院と連携しています。

また、その地域における地域医療の拠点となっている施設(地域中核病院)として、N.国立病院機構 長崎病院、O.聖フランシスコ病院、P.長崎記念病院、Q.和仁会病院、R.地域医療

機能推進機構 諫早総合病院、S.市立大村市民病院、T.長崎県島原病院、U.長崎県五島中央病院、V.長崎県上五島病院といった幅広い連携施設が含まれています。



長崎大学整形外科専門研修施設群

③研修コースの具体例

本専門研修コースの具体例として、長崎大学病院整形外科の専門研修施設群の各施設の特徴(脊椎外科、関節外科、スポーツ医学、手外科、外傷、腫瘍)に基づいた総合研修コースの例(表2)を示しています。また、将来希望するサブスペシャリティ分野を重点的に研修する専門分野特化コース(表3:例・脊椎特化コース)を選択することも可能です。

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|------------------|----|------------------|----|----|--------------|----------------|-----|------------|----------------|----|----|
| 1年 | スポーツ 大学病院 | | 脊椎・脊髄 大学病院 | | | リウマチ 大学病院 | | | 外傷 大学病院 | | | |
| 2年 | 小児整形 子供医療センター | | リハビリ 子供医療センター | | | 上肢・手 大村市民 | | | 地域 大村市民 | | | |
| 3年 | 下肢 長崎医療センター | | | | | | 外傷 長崎医療センター | | | 腫瘍 長崎医療センター | | |
| 4年 | 上肢・手 大学病院 | | 脊椎・脊髄 大学病院 | | | 選択 大学病院 | | | | | | |

表2：総合研修コース

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|----|----------------|----|----------------|----|----|------------------|---------------|-----|----------------|------------|------------|----|
| 1年 | 脊椎・脊髄 大学病院 | | スポーツ 大学病院 | | | 小児整形 大学病院 | | | 腫瘍 大学病院 | | 外傷 大学病院 | |
| 2年 | 地域 嬉野医療センター | | 下肢 嬉野医療センター | | | リウマチ 嬉野医療センター | | | 外傷 嬉野医療センター | | | |
| 3年 | 上肢・手 長崎労災 | | | | | | 脊椎・脊髄 長崎労災 | | | 下肢 長崎労災 | | |
| 4年 | 外傷 | | リハビリ 長崎労災 | | | 脊椎・脊髄 長崎労災 | | | | | | |

表5：脊椎特化コース

3. 長崎大学整形外科専門研修における多彩な実習形式の研修会

実習形式の研修会の例としては、外傷センターではAO法に準じたplate, screwなどを使用した骨接合術の手術手技を身に着けるため、模擬骨を使った実習トレーニングを定期的で開催しています。また、肩肘関節班では、肩肘関節鏡の手術手技を理解・習得するため、ご献体(キャダバー)を使用したハワイなど海外での手術トレーニングコースを定期的で開催しています。それらに参加することにより、より実践的な手技を身に着けることができるとともに、将来のサブスペシャリティ選択の際に有益な情報を得ることができます。



外傷センター骨折勉強会

海外での肩関節鏡キャダバートレーニング

4. 専攻医受入数

専門研修基幹施設である長崎大学病院整形外科と専門研修連携施設全体の指導医数は63名、年間新患者数45,000名以上、年間手術件数およそ15,000件と十分な指導医数・症例数を有しますが、これまでの研修実績を踏まえ、質量ともに十分な指導を提供するために1年10名、4年で40名を受入数とします。

5. サブスペシャリティ領域との連続性

長崎大学整形外科研修プログラムでは各指導医が脊椎・脊髄外科、関節外科、スポーツ整形外科、外傷、手外科等のサブスペシャリティを有しています。専攻医が興味を有し将来指向する各サブスペシャリティ領域については、指導医のサポートのもと、より深い研修を受けることができます。なお、専攻医によるサブスペシャリティ領域の症例経験や学会参加は強く推奨されます。また、前述の長崎大学主催の国内外における手術実習トレーニングを通じて、サブスペシャリティ領域への早い段階からのかかわりを持つことができます。

6. 専攻医の採用と修了

- ・応募資格: 初期臨床研修終了または終了見込みの研修医で、整形外科の専門研修を希望する者。
- ・応募方法: 翌年度のプログラムへの応募者は、研修プログラム担当者宛に下記の形式の申し込み書類を9月末前後の締め切りまでに提出してください。また、応募の状況により、二次募集を行う場合もあります。

【応募必要書類】

- ① 長崎大学整形外科専門研修プログラム応募申請書
- ② 履歴書
- ③ 医師免許証(コピー)
- ④ 医師臨床研修終了登録証(コピー)あるいは終了見込み証明書
- ⑤ 健康診断書

上記申請書その他、申請に関することは下記にお問い合わせください。

・長崎大学病院医療教育開発センター 高比良 ゆかり(タカヒラ ユカリ)

852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号

TEL: (095) 819-7874 fax: (095) 819-7781

e-mail: kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp

URL: <http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/>

・病院見学について

長崎大学病院整形外科では、随時病院見学を受け付けております。下記 URL よりお申し込みください。専門研修担当者より追ってご連絡いたします。

<http://www.nagasaki-seikei.com/contact2.php>

・修了要件:

- 1) 各修得すべき領域分野に求められている必要単位を全て満たしていること
- 2) 行動目標の全ての必修項目について目標を達成していること
- 3) 臨床医として十分な適性が備わっていること
- 4) 研修期間中に日本整形外科学会が主催又は認定する教育研修会を受講し、所定の手続きにより 30 単位を修得していること。
- 5) 1 回以上の学会発表を行い、また筆頭著者として1編以上の論文があること。